



ICU・CCU

部署の特徴

ICU・CCUは、集中治療室の入室基準に沿った、あらゆる診療科の重症・要注意患者様が入院しています。病床数8床で、看護師配置基準は2:1です。

主に外科、呼吸器外科、脳外科、婦人科、泌尿器科の各手術後や、心肺蘇生後、院内急変後の重症患者様が入室します。病態は多種多様であり、各病態に対応する専門的な知識と技術はもちろんですが、様々な医療機器に対応することも求められます。また、医師だけでなく、理学療法士や栄養士、薬剤師など様々な職種と連携し、患者様の早期回復・早期離床に向けてチーム医療を展開しています。

ICU・CCUでは、安静と安全、感染予防の観点から、面会時間や面会者を制限しています。そういった環境下で、症状の不安定な患者様やご家族が抱える不安は大きく精神的ケアが大切です。患者様の一番身近で寄り添える看護師として、日々できることは何かを試行錯誤し、スタッフ一丸となって向き合っています。

勉強しておくの良いこと

ICU・CCUは、全身麻酔の手術後の患者様が多く入室します。

全身麻酔後の影響、一般的な外科手術後の合併症やその予防、周術期の患者様とご家族の心理状態や、その看護について勉強しておくの良いと思います。

また、診療科が特定されないため、解剖生理も復習しておく役に立ちます。

とはいえ、元気に毎日仕事に来てもらうことが一番なので、入職前に頑張りすぎなくても大丈夫です。一緒に勉強していきましょう。

よく使う参考書・教科書

- ・ICUナースのノート(日総研出版)
- ・国循ICU・CCU看護マニュアル(メディカ出版)
- ・はじめての～シリーズ(メディカ出版)新人看護師さんにお勧めです！

